東洋産業だより

Vol. 188
2019年9月号

スズメバチが危険!!

ずいぶん暑さが和らいで過ごしやすい時期になり、生物たちの活動も活発になる秋になってまいりました。

例年、この時期には、ハチのお問合せを多くいただきます。特に被害やご相談の多いスズメバチについて考えてみましょう。

スズメバチの巣は女王バチとその娘である多数の働きバチで構成されており、巣の中で役割分担をしています。まるで人間の社会のように見えることから「社会性昆虫」と呼ばれます。

ハチの巣は、越冬から目覚めた女王バチが春に一匹で作り始め、最初は採餌、産卵、育児、防衛などすべての仕事を一匹で行います。その後働きバチが羽化してくると、女王バチから働きバチに産卵以外の役割を渡し、産卵に専念するようになります。春、見つけることも困難だった小さな巣は、働きバチの増加に伴い、夏から秋にかけて大きく急成長します。目立って見つけやすくなるのが、ご相談をいただく一つの理由です。

どこにでも普通に見られるキイロスズメバチは、巣の引っ越しを行うことが知られています。女王バチは春先に比較的安全な狭い場所（壁の間、土の中、木のうろなど）に巣を作り、働きバチが増えて手狭になると、引っ越しを行います。そのため、突然引っ越し先で巣が急速に出来ることがあります。これも、ご相談をいただく一つの理由です。

オオスズメバチは、木の根元などの土中、樹洞などの閉鎖空間に巣を作るので、知らない間に巨大な巣ができていることがあります。

毎年、年間20人前後の方がハチの被害にあい亡くなっています。これからの時期はスズメバチによる被害がより多くなります。特に本年は、春先の餌が豊富であったことから、ご相談も例年より多い状態が続いています。

また、巣の駆除も不慣れな方が行ってかえって被害を増大させるニュースも多く耳にします。ハチの異常な行動や巣を見つけた際には、刺激せず、弊社にご相談ください。

ご相談の際は、どこにどんなハチがどのような感じでいるか、巣の大きさや形（ボール型、お椀型、とっくり型など）、巣のある高さ、真下に脚立等が立てれるかなどをお知らせください。万全の準備をしてお伺いし、問題を解決いたします。

表　ハチの種類別、営巣しやすい場所

種類	営巣しやすい場所
アシナガバチ類	軒下、木陰
キイロスズメバチ	軒下、床下、壁内、天井裏、換気扇
コガタスズメバチ	植え込み
オオスズメバチ	地中、切り株
ミツバチ類	床下、壁内、天井裏

図　ハチの巣の形

今月の豆知識：ゴキブリを捕食する大型蜘蛛

暑い時期、ゴキブリたちも野外では少し元気を失っていましたが、残念ながらこれから秋にかけてまた活発になって、ひょっとすると皆さまの頭を悩ませることになるかもしれません。

そんなゴキブリには天敵がたくさんいます。ゴキブリがいると優秀なゴキブリハンターが皆様のおうちにも助っ人で侵入してくる可能性があります。その名は「アシダカグモ」。大きさは子供の手のひらくらい（脚を広げると100～130㎜）、足が長くて素早く走り回る、灰色～黄土色のクモ。皆さんも一度は見つけてびっくりしたことがあるのではないでしょうか。元々日本には生息しておらず、クロゴキブリを追いかけて日本にやってきたと言われています。主食はゴキブリで、一晩で20頭を捕食した記録を持ち、喫食中でも新しい餌を見つけるとそちらに飛びつきます。とても優秀なハンターですが、高いところには登れず、人には寄り付かず逃げていき、毒も持たず、餌がなくなるとひっそりと次のおうちへ獲物を求めて引っ越します（屋外で発見されることはめったにありません）。また、産卵したメスは口で卵嚢を持ち運び、孵化までの1か月はエサも食べずに子の成育を見守るという健気な一面も見られます。

彼らのあらわれるところにゴキブリあり。見た目はよくありませんが、おうちの中で彼らを見つけてしまったら、きっとゴキブリを探して狩ってくれているはず。温かい目で見逃して…くれますか？

東洋産業株式会社
本社　岡山市北区新屋敷町 3-19-20
TEL 086-241-8080
FAX 086-241-8094
拠点　大阪・姫路・岡山・倉敷・福山・広島
高松・松山・金沢
www.to-yo-s.co.jp
（バックナンバー掲載中）